

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回子ども・若者会議	
開 催 日 時	令和6年2月19日(月) 午後2時から午後3時20分	
開 催 場 所	東浦町役場 合同委員会室	
出 席 者	委 員	原田委員(会長)、恒川委員、杉本委員、山崎(宏)委員、石川委員、山崎(紀)委員、友永委員、関委員、鬼頭委員、岡本(貴)委員、吉田委員、水野委員、中西委員、加藤委員
	事務局	健康福祉部長、教育部長、児童課長、学校教育課長、生涯学習課長、子育て支援センター所長、指導保育士、生涯学習課課長補佐兼生涯学習係長、児童課保育係長、児童課児童福祉係長、児童課児童福祉主事
欠席者	岡本(嘉)委員、深谷委員、石原委員、梶山委員	
議 題 (公開又は非公開の別)	<ol style="list-style-type: none"> 1 東浦町子ども・子育て支援事業計画の進捗について(公開) 2 青少年対策事業について(公開) 3 子ども・子育て支援事業計画に係るアンケート調査について(公開) 	
傍聴者の数	0名	
報 告 内 容 (概 要)	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長あいさつ 2 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 東浦町子ども・子育て支援事業計画の進捗について (2) 青少年対策事業について (3) 子ども・子育て支援事業計画に係るアンケート調査について 3 その他 <p>※事務局からの報告等及び委員からの意見等は別紙のとおり。</p>	

別紙 報告内容 (概要)

事務局	<p><u>議題1 東浦町子ども・子育て支援事業計画の進捗について</u> 東浦町子ども・子育て支援事業計画の進捗について事務局より説明。</p>
委員	<p>【資料2 子ども・子育て支援事業計画の進捗シート】 <質疑意見等></p> <p>生活安全指導員の設置は、各保育園ごとで1名になっているか。また、常駐となっているか。</p>
事務局	<p>生活安全指導員は、各保育園に毎日1名ずつ、週に1回児童館に行っている。常駐ではない。</p>
委員	<p>保育園に行ったときに、指導員を判別することはできるか。名札はつけているか。</p>
事務局	<p>生活安全指導員は名札と腕章をつけているため、見た目で判別できる。</p>
事務局	<p><u>議題2 青少年対策事業について</u> 青少年対策事業について事務局より説明。</p>
委員	<p>【資料3 令和5年度青少年対策事業実績】 【資料4 令和6年度青少年対策事業計画 (案)】</p> <p>情報提供だけになるが、令和6年度11月10日、産業まつりと会場の記載がある。予算的な最近の物価上昇にあわせて、産業まつりの縮小を推進協議会の方で検討している。2日を1日にする、もしくは会場の規模を縮小して2日を維持するという形を考えている。また、正式決定はしていないが、そのような方向で商工振興課とともに進めている。</p>
委員	<p><u>次第3 子ども・子育て支援事業計画に係るアンケート調査について</u> 子ども・子育て支援事業計画に係るアンケート調査について事務局より説明。</p> <p>【資料5 第3期東浦町子ども・子育て支援事業計画策定のためのスケジュール及びニーズ調査について】</p> <p>アンケートを読ませていただいたが、小学校高学年の方は全員タブレットでということだが、現在どのくらい集まっているか。</p>
事務局	<p>本日現在で小中学校に確認したところ、小学校は37%・496名に回答いただいている。中学生につきましては1425名中697、50%半数の方に回答いただいている。各担任の方から、朝礼等休憩の時間等を用いて回答をいただいている。2月29日までなのでもう少し回答率が上がってくるかなと思っている。</p>

委員	アンケートについてなんですが、1年生から3年生にもアンケートをしているか。
事務局	中学校は1年から3年生だが、小学校の1年から3年生については年齢的に回答が難しいと考え、行っていない。
委員	アンケートの内容をみて、どれだけわかって回答できるかなと思った。「ヤングケアラーという言葉を知っていますか。」という言葉が聞かれたとき、そう思うという答えはぴんときないと思う。「知っていますか。」なら、「知っている」とか「知らない」とか「まあまあ知っている」とかそういう言葉になってくると思うので、アンケートとなると統一するのがベストかもしれないが、そういう言葉がけを考え、もう少し子どもに理解しやすいようにしたほうがいいのかと思った。今後1年生から3年生にもした方がよいのではと思った。私にも孫がおり、児童館にも勤めているが、子どもの勉強の様子をみていると結構ことばで知らないなっている。こどもに理解できるように、先生に質問せずに答えられるなら一番ベストかなと思っているので、そういうところも、今後アンケートをすることがあれば考えていただきたいと思う。
会長	次回もアンケート調査するときは、難しい言葉じゃなくて簡単な言葉で対応するように考えたいと思う。 事務局の方に質問ですが、このアンケートは今度の第3期事業計画を作るときのものでですか。
事務局	第3期子ども・子育て支援事業計画のための調査となっている。
会長	みなさんしっかり読んでいただいて、この場ではすつと質問はでないかもしれないが、もし、家に帰られてからあつと思いましたら役場の方に電話かけていただいて、質問もお願いしたいと思う。
	<u>次第4 その他</u>
委員	うちでは保育園・小規模保育をやっており、保育目線で保育をやってるので知らない情報があるのかもしれないので、教えてください。基本施策のタブレットという話がありました。タブレットというのは民間のほうでも全体的に考えられている話でよろしいか。
事務局	民間保育所等のICTについては、令和5年度補正予算で希望のあった事業所については予算をつけさせていただいている。
委員	アンケートのほうにもありました今後保育園を民間の方に委ねていくことに対しての質問がありましたが、保育が民間と町へと混ざってくるとサービスの向上というところでバランスをどうやってとっていくか、すごく難しいマネジメントだと思う。この資料の中でも食育をやっていますとあるが、うちはカウントされているのかどうなのかを思った。これからうちや民間のあしたがすき保育園とか増えてくる

事務局	<p>と、調査の内容でいかにバランスとっていくのというところもでてくると思うので、今後、こういう風に足並みそろえたいというのがあったら、ぜひ言ってください。</p> <p>本町としては、保育士不足、今から保育士が町内保育園8保育園をなかなか網羅できるように保育士が配置できるのか不安がある。東浦町のいいところというのは、1小学校区に保育園が必ずあるというところでいろいろと評価をしていただいたところですが、ここにきて国の方も保育園の運営費・建設事業費については公には補助が出ない。民間については出ますが公の機関には出ない、国の方針でなるべく民営化していくというような動きが出ている。今日も東ヶ丘幼稚園の方がきていますが、長くから東ヶ丘幼稚園は東浦町とのつながりがあります。その中でも新田地区については新田保育園と東ヶ丘幼稚園が融合してその地域でやっていただいています。今後は、公立保育園が小学校区に1つあるというところがちょっとずつ変わっていくのではないかなと思っている。そこで民間のお力を借りないとやっていけないというところで、民間の運営する社会福祉法人等につきましては、町立保育園が子どもをかかっているとなかなか参入する隙間がないというところがありますので、そこに対してしっかり民営化にしていきたいという意思表示をしながら、いい法人に参入していただいて町の保育行政の充実を図っていきたくと考えている。そういう中で問題の部分は町立保育園でしているサービスを、民間にはないという不平等さができます。そこをどのように埋めようかが今からの大きな課題になってきます。東浦町の公立保育園だと給食費の無償化ですが、民間の方に通う私立幼稚園に通う方についてはそういうサービスがない。今後はそういうところも同じサービスでなるべくベース的、基礎的な部分の中では同じようにやっていきたいと思っている。そういう中でも特色のある保育・幼稚園という事業の中で、やはりこの施設に通えれば子どもにとってこんなメリットがあるとか、そういうところを打ち出していただき保護者の皆様方には選択していただいて好きな保育園・幼稚園に通っていただけるような形が出来たらなという風に考えている。</p>
会長	<p>いま事務局から話がありました、私の小さい頃の幼稚園はいろんなことをやっていただいて、保育園は外で遊ぶだけというようなイメージがあったが、東浦の子どもたちは役所と民間があまり隔てのないような保育行政を求めているという事でお話されましたので、皆さんぜひ理解をしていただいて幼稚園でも保育園でも大丈夫ですよとお話をいただければありがたいかなという風に話を聞きました。</p>
委員	<p>主任児童委員をしておりまして、赤ちゃん訪問をしておりまして町外から見た方も多くみえて「児童館を知ってますか。うららんを知ってますか。」という、うららんを知ってる方は結構多い。「行ったよ」という方も多い。地元児童館というところがあるけど、散歩がてら寄ってみてという「知らない、どこにありますか。」という方が多くあって、PR不足かなと。町外からは声をかけて地元にある施設を知っていただきたいなと思っている。もっともっとPRをしていただきたいなと思っている。行けば手厚くいろいろ声をかけてもらって、相談にもものってもらえるよとは言いますが、なかなか知らないっていう方がいて寂しいなと思っている。PRとか大変だと思う。またイベントがあるときにはもっともっと大々的にやって、こんなことやっているよといえどもっと施設を知ってもらえるのかなと思う。広報を取ってない方もいるとか、若い方は入っていないので広報配れないとかいわれる</p>

	<p>が、なにか他にもっとないかなと思っている。</p> <p>これは健康に関することだが、健康診断の時に肌着を着るようにと、あった。東浦では考えられているか。やっぱり女の子ともなると先生の前では裸になって診てもらうのは抵抗がある子もいる。背骨が曲がっているのを診るためには裸が必要だと聞いたことがあります。今は人権を守るうえでも必要じゃないかと思ひますし、どこかが始めたらきっと市町は右にならえというところが多いので、だんだん増えてくるんじゃないかというのは聞いたんですけど、東浦の方では考えられているか。</p>
事務局	<p>まず児童館のPR不足というところですが、まだまだPRができていないかなというところがあります。児童館だけではなくいろいろと子育て施策を東浦町が行っている中で「そんなこともやっているんですか。」と言われることもある。ことあるごとにいろいろPRしていきたいとは思っている。</p>
事務局	<p>学校の健康診断の件だが、最近文科省のほうから着衣という形ものが原則というものがでた。東浦町としては第一はしっかりと健康診断、先生に診ていただくというのは大事にしていかないといけないと思っている。しっかり診ないといけない、服を着ているとみづらいのは背骨が曲がっている側彎症です。あと、胸にちょっと穴が空いている漏斗胸というようなもの。また身体に皮膚的な疾患だとか、DV的なやられてしまったところを見逃さないようにいったところをしっかりと見ることが第一として健康診断で行っていききたいと思っている。着衣ということで子どもたちのプライバシーも配慮が必要だよというところはでておりますので、学校医の先生たちとお話しさせていただいて、どのようにしていくか協議を進めている。</p>
委員	<p>子ども医療費助成のことで伺いたいが、私も17歳の孫がいるのでとても親が助かるなと思うのですが、今、国としてそういう方向があるのか、それとも町の方で声があったのか。また10月からだということですが4月からでは難しかったのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>子ども医療費の関係です。こちらの方は、今、国の方がいっていますが、その前に東浦町として3か年の実施計画というのを作りますが、その時点で令和6年度から子ども医療費を18歳まで引き上げようと計画がありました。町の単独の考えでやっていくとうことであります。なぜもうちょっと早くからというところですが、来週・再来週から議会が始まります。議会の承認が得られない限りこの事業は進まないわけで、3月は予算議会になりますのでそこで承認されれば行える。そうすると予算が使えるようになって、そこからシステム改修が必要になってくる。今医療証を持っていない高校生の方々に申請していただいて医療証をお配りする。あとは今この年齢に達していない人たちにも新しい医療証をお配りする。そのあとに医療機関の方ですね。町内だけではなく町外の医療機関にかかる方もたくさんおられますので、そちらの方の周知という準備期間でどうしても10月開始というような形になっている。</p>
委員	<p>更生保護婦人会は女性で作るボランティア団体ですが、柱として子育て支援</p>

	<p>をしている。今、町の児童館となかよしというちょっと療育のいる人の子を預かる託児ときりんの会とってやっぱりちょっと療育のいる人たちの託児を依頼されてやっていますが、子育てネットワークだとかファミサポとかいろんな託児をやっている。いろんな子育てをやっている団体があるようですけど、そのコーディネートしてくれるのが子育て支援センター・うららんのお仕事かなと思いますが、単独でやっているだけでいつだれが託児をやっているのか知らない。言われた日にちだけ行ってる感じ。だから隣でやってる、他の日にやってる、サポートセンターの誰かがやっているのかもしれないですけど、そういうのもまったく知らない。知らないでいいと言えば、いいのかもしれないが、せっかく子どもたちのためにみんなが少しの時間でもなにかやれることはないかとやっているの、情報共有まではいかないですけど、みんなで考えればもっといいアイデア、決められた日はだめだけどこの日の方がいいかもしれないとかあるかと思う。そういう調整もしていただけたらいいかなと思う。子育てネットワーク主催ってなにかあるみたいだが、そういう情報も全然知らない。今見て初めて知りましたが、そういう情報をもう少し流して下さってもありがたいかなと思った。</p>
事務局	<p>託児の方、また、児童館、なかよし学園の下のお子さんの託児もご協力いただきありがとうございます。他の部分ですね、託児もお願いしているところがあり、子育てネットワークさんにはやっていたが、講座とかの託児はボランティアセンターの託児応援隊という方にやってもらっている。ファミリーサポートセンターは、有償ボランティアの会になり、子育ての応援をしてほしい人と応援してもいいよという方にそれぞれ会員になっていただいている。昔だったら隣のおばちゃんにちょっとお願いする、子どもをみてと頼みたいところ。今はなかなか近所づきあいもなく、なにかあったときの保証ということでファミリーサポートセンターでしたら保険の方に入っていたく形になっているので、そういうのを活用していただけるということで。なかなか不慣れな方がいきなりちゃんとお子さんを預かるのは厳しいかな、ちょっと心配とおっしゃる方に託児応援隊という名前で講座の時にとか集団で託児、10人のお子さんを8人の大人でみるよというような感じの形でやっていた。そんな感じのこともあるので、これまで内緒にしていたが、情報も共有させていただきますので今後もよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>今保険も入っているとって、私たちボランティアがやると保険って入っていません。たとえば子どもを落としたりケガさせてしまったら、ボランティアでやってる私たちは誰が保証するのか。ボランティアだからほっとけばいいのか。今のところは無事に過ごしていますが、保険に入っていない。だったら私たちに頼むのは良くないことになってしまう。かたやそっちの保険の入っている有償ボランティア。見る方にもちょっとお金が入ってくる。私たちはほんとに全く無償。気持ちでやっている。なんかその差って知ると余計に矛盾を感じてきてしまう。どうしたらいいか。有償で保険に入っているほうがどんどん活躍してくださればいいという考えでいいですか。</p>
事務局	<p>保険については町の事業でありますので、町の中で使えるか使えないかというところは改めてもう1回確認させていただきかなと思う。こっちで同じような活動している団体があるから、私たちもういらぬというような考え方はなくていいのかなと</p>

	<p>思います。仮に、更生さんが今後やっぱりちょっとこの部分じゃなくてこういうことに力入れていきたいから少しこの部分楽させてくれとかいう話があればご相談のらせてもらいます。そうではなく、子育てフェスタいろいろ活躍していただいている部分があるので、子どもの関係でその部分の中で決して下火になるような活動にしてもらいたくないなと思っております。</p>
委員	<p>構成員の高齢化、昔元気だったころのお母さんたちで年齢がいつている人がやってくださっていて、今まだちょっと元気な60ぐらいはみんな働きに行っていて、働きが終わっても今度は自分ちの孫をみるので、他人までとても手がまわらない。誰がやれるかという、70超えた方が時間がちょっとあるので行ってくれる。その人に預けて反対に大丈夫ですかといわれたらおしまいだと思っています。もうそういう時期に来つつあります。少なからず5年には来ます。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>この話ってここだけじゃなくて、シルバー人材センターでもおんなじことがいえて、地区の高齢者ふれあいサロンでもおんなじようなことがいえて、通っておられる方とお世話する方と年齢が同じくらいじゃないのかというのは、絆さんの方でもおんなじようなことが言えると思います。僕的には悪いことじゃないのかなと思えます。いつまでも生涯現役で、社会のなんだかんだの部分の中に関わりを持っていただいていることが元気の秘訣にもなるのかな。それを老体にむちを打ってやらせるというのはちょっと違うかなと思うので、なるべく楽しんでやっていただける活動ということで、つなげていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>小学生・中学生に対して行ったアンケートの中に、「どこかに私を助けてくれる人がいると思いますか。」という質問があってそう思うと答えた子どもはいいですが、「そう思わない・誰も助けてくれる人がいない。」と思っている子どもが、子ども自らが助けてほしいと申し出るような窓口・制度というのは東浦町にはありますか。</p>
事務局	<p>学校で今スクールカウンセラーの先生たちもお見えですし、役場でも子どもと親の相談員がいろんな子どもたちのそういった相談を日々電話等で受けています。今回アンケートの中に、助けてくれるところがある、そういう発信できる力のある子であればそういうところに電話等してくるのかなと思っている。こういったアンケートがそういったところに繋がって、つらいと思っている子が連絡してくれればいかなと思っている。現状では小学校・中学校ではそういうところかなと思っている。</p>
事務局	<p>補足ですが、児童館の方にも、なるべく子どもの皆さんの居場所であってほしいと思いがあります。相談するところはたくさんあればあるほどいいなと思う。学校でもやっぱり受け止めていただいているところがあり、重い思いを学校で受け止めきれなかったらどうするか。専門機関につなげていくことが必要なかなと思っている。あとは、社会福祉協議会のほうでも、そういう子どもの関係でコミュニティーソーシャルワーカーが、地域の中でアウトリーチ活動することによってSOSを出さないような子どもに対する保護も行っている。何かあれば役場でも学校でも社会福祉協議会でもという共通意識の中で大人が子どもに声掛けするのが重要。</p>
委員	<p>スクールカウンセラーとかそういう制度を自ら利用できる子どもはまだいいと思</p>

	<p>う。そこにさえも頼れない子どもたちのケアは、どこの団体に所属しようが、社会全体で子どもを育てていくという意識のもとでは大人がちゃんとあらためて認識することが必要なのかなと思う。ある子どもに言われたが、ちょっと学校で思うように人間関係だとか勉強とかうまくいかないことがあって学校に行けなくなったと。でも学校に行かなくなった瞬間に親・先生がみんな敵になったと。そういう子たちはどこに相談したらいいかわからないという悩みを日々抱えて、このまのどこかにおるのかなと思ったらほんと心が痛くなることもありますので、みんなで子どもたちを救いあげるような意識を持つていくことが必要かなと思った。</p>
<p>委員</p>	<p>ネットワークでは昨年までコロナ禍のなかで、なかなか思うような活動ができずに、今年度から少しずつ活動を再開し、大きな託児とかはやっていないが、講演会をやったり、子供服の譲渡会やったり、保健センターの4ヶ月児健診をやったりしている。高齢化の話ですが、うちの方もだんだん高齢化していき赤ちゃんをもってのお母さんが不安になるんじゃないかというので、4ヶ月児健診の託児というかお子さんの見守りの方もどうしたものかという話は前回の会議で出ていました。形を変えながらでも続けていけたらいいなと思っている。ちょっと話が変わりますが、経済的支援でひとり親家庭の自立支援の推進ということで子どもの貧困対策の推進とあるが、先日大府のボランティア団体と話をしたときに、シングルさんの家庭へのフードパントリーを月に1回行っているという話があり、町のほうと密な話をしながら連携もありながら町のほうからちょっとお願いされてやっているという話がありました。ネットワークから離れてしまったが、こども食堂のほうでもちょっと生活に困っているよというご家庭の方への食料支援というのを何件か持っているが、なかなか町との連携というのがどうしていいのかわからないまま、支援をはじめて3年くらいになる。こどもに対する支援のところでもう少しボランティアとも、つながってやれる範囲で少し相談しあえる仲になればいいなと思った。</p>
<p>事務局</p>	<p>具体的に今やっただいたっているこども食堂の食料支援的な部分のなかで、公の機関にこういうようなことを伝えたいなという要望とか希望とかありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>3年やっているなかでなかなか自分たちが支援している家庭が、支援がなくなってもやっっていけるよという段階までになっていない。家庭の中も複雑なところも多かったり、お子さんの人数が多かったりとかいろいろな家庭がある。町から、この家庭がすごく今食料に困っている、生活が苦しいという情報を教えていただけたら、そののところに私たちボランティアで食料のほうはいろいろ支援できる。</p>
<p>事務局</p>	<p>今活動していただいて、そのケースの今後というところのなかでなかなかボランティアの枠をこえた支援。ちょっとここまではわたしたちできたけど、ここからはちょっとやっぱり行政のほうでというようなところはどんどんいっていただいて一緒になってその困窮世帯の支援のほうに関わっていきたいなとは思っている。しくみが無いが、今この人が困窮なのでどうにかしてというのを願う部分については、今からどういう風にしていくべきなのかなと考えていくべきなのかなと思う。子育て関係も行政単独では難しい。行政だけでは難しい部分に対して皆さんのお力も借りれるところは借りていきたい。個人情報とかいろんな壁があるなかでどうにか乗り切ってやっていけたらなと思っている。</p>

会 長	<p>皆様ご協力いただきまして、会議のほうスムーズに運営できました。まことにありがとうございます。今後も子育て支援事業等にご協力いただきますようお願いを申し上げます。また、もしなにかございましたら個別で事務局の方にお話しいただければ、やっていただけることは力になっていただけます。できんことは両部長とも厳しいのでやだといたしますのでよろしく申し上げます。</p> <p>以上をもちまして令和5年度の第2回東浦町子ども・若者会議を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p> <p>以上で会議終了。</p>
-----	--